山歩きのすすめ

えんでぶ、ねかせて

※松之山の方言「歩いてみませんか」の意

雪解けを待ちわびたように一斉にブナが芽吹き、夏には「キョロロロロー」というアカショウビンの鳴き声、日が暮れれば蛍の乱舞。秋には山々が色づき、そしてまた静寂な雪景色がやってくる。ちょっと足をのばして美しい自然の中に身を置き、心と身体を癒しませんか？

モデルコース

上湯の森エリア（約2時間）
地炉 → 収穫の家 750m → 水音の森公園遊歩道 300m → 夢の家 350m → 100m → 地炉

菱の森エリア（約45分）
地炉 → 温泉街バス回転場 450m → 薬師堂 100m → 太鼓橋 200m → 明暗の滝 100m → 300m → 地炉

湯の森エリア（約1時間30分）
地炉 → すみ塗り広場 150m → 秋葉神社 900m → 千の坂公園 150m → 湯尻展望台 450m → 温泉街 350m → 550m → 地炉

Art 大地の芸術祭作品

宿泊者が、見た夢を綴ることが作品となる「夢の家」。松之山の草木、石、土などで様々なテーマを表現する「収穫の家」。温泉街入口にそびえ立つ「峡谷の燈籠」。ステージ上には松之山の植物をモチーフとした「メタモルフォーゼ」。古民家や豊かな自然と現代アートの不思議な出会いを体感してください。

※「夢の家」「収穫の家」共通観覧料 400円（冬期閉館 大雪回避）

薬師堂

薬師如来が医薬の仏とされることから、歴史ある温泉場にはほとんど薬師堂があります。温泉に訪れた人々は散歩をしながら参詣し健康を祈っていました。中でも「湯の森公園」の薬師堂からの眺めは格別です。

湯守処「地炉」

上湯集落にあった築100年の古民家を、源泉の湯やぐら近くに移築。圧巻の大梁の懐かしさと重厚な梁（はり）が古き良き田舎の暮らしをよみがえらせます。足休めや、ふれあいの場所にご利用ください。

もっと えんでぶ、ねかせて 安吾の散歩道

散歩好きの坂口安吾がよく通った道は、松之山から塩口、湯峠を経て高本に至る一周8.5kmのコース。疲れると路線バスで温泉街から高山を経由して松之山に戻ったといいます。安吾の道をたどれば、小説の中にこめられた安吾の思いを実感できるはずです。

全長 8.5Km

0 250 500m

N